

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)学校法人 京都インターナショナル	階数	地下1階・地上2階
建設地	京田辺市田辺勇田63-1,62-1の一部	構造	木造
用途地域	第1種中高層住居専用地域第1種住居	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,250時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	
竣工年	2021年4月 0.0	評価の実施日	2020年10月15日
敷地面積	4,616㎡	作成者	村上博之
建築面積	1,119㎡	確認日	
延床面積	2,427㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO2/年・m2)  
 ②建築物の取組み: 46 (kg-CO2/年・m2)  
 ③上記+②以外の: 46 (kg-CO2/年・m2)  
 ④上記+: 46 (kg-CO2/年・m2)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 3  
 Q3 室外環境(敷地内): 3  
 LR1 エネルギー: 3  
 LR2 資源・マテリアル: 3  
 LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア=2.3

音環境	2.2
温熱環境	2.6
光・視環境	1.8
空気質環境	2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア=2.2

機能性	2.4
耐用性	2.7
対応性	1.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=2.7

水資源	3.0
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0

地球温暖化	3.8
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>インターナショナルスクールの小学校から大学まで兼ね備えた教育施設であり、建物内の断熱性能を高め、エネルギーの自給も視野に省エネルギーに努めた。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>屋根に太陽光発電を全面に設置し、出来る限りエネルギーの自給に向けて計画した。(余剰電力を売電する可能性があるので、省エネルギーの計算には入っていません)</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>窓の開閉部を極力取りながら、外壁の断熱とのバランスを考え、極力自然の光、風などを感じられるように努めた。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>内装材に出来る限り自然素材を取り入れ、木のぬくもり、質感などを目的に積極的に取り入れた。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>建物内の断熱性能を高め、よく利用する居室には、全熱交換器などの省エネルギーへの対策を行った。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>出来る限り自然素材への採用を積極的に計画した。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>周辺への影響を考えて、空調機器の屋外機は北側に配置し、南棟の南側の壁面には、必要最小限の窓等開口部とし、子供たちが利用する運動場なども北側に計画し、南側隣接地や住宅への影響を極力少なくする計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される